

家庭学習(ノート)について

家庭学習担当

1. 目的
 - ①毎日継続的に取り組ませることで、学習習慣を身に付けさせる。
 - ②取り組む内容を自分で決めさせることで自主性や意欲を高めさせる。
2. 担当者 1年団：鈴木(亮) 2年団：山本(幸) 3年団：須賀
3. 内容
 - (ア) テスト計画表の実施
 - 3年間を通して同様のものを使用できるように、共通のものを使用する。
 - テスト2週間前までに範囲表を作成し、テスト計画を立てさせる。
 - (イ) 家庭学習の手引きの発行
 - 5教科担当に協力してもらい、年度初めに作成する。
 - 家庭学習時間の目途も明記する。

(案：スクールプランでは2時間を目標となっています。状況に応じて目標に近づけていければと思います。)
 - (ウ) 家庭学習ノートの指導
 - ノートやワーク(市販も可)を用意し、毎回提出させる。「宿題」についても家庭学習として認めこととする。
 - 必ず「日付」「教科・内容」「時間」は記入する。
 - 塾で学習したことや宿題で取り組んだことも記入するようにする。
 - ノートを使った学習方法について指導する。(1年生は丁寧に指導してください)
 - (エ) 家庭学習ノート回収について係生徒の仕事
 - 家庭学習ノート係をおき(学習係内でなど)、回収、提出状況のチェック(名列等を利用して)、運搬、返却を行う。

(例)登校したら、提出用カゴに家庭学習ノート・ワーク等を入れる。

 - ⇒係が名簿(名列)にチェック・集計をする
 - ⇒<朝>職員室前の机まで運ぶ
 - ⇒<帰>職員室前からかごを教室に持っていき ⇒家庭学習係が返却する

※提出状況を記録したものは、学級や学年でどのように対応するか決めてください。

⇒各学級担任が提出率について、月1回記録を入力していただきます。
 - (オ) ノート点検について
 - 年間を通して、各学年団で協力して点検を行っていく。

(時間割が確定したら家庭学習担当者が全クラス分を割り振り、一覧にして配付します)

(各教員の持ち時数の関係上、偏りがあることをご了承下さい)

家庭学習ノートについて

学校の授業だけでは身に付くことのできないたくさんの学習内容があります。それを身に付けるためには、日々の家庭学習が不可欠です。宿題などの指定されたもの以外に、自分で内容を見つけて決定して、取り組むようになると更に学習内容が身に付いたり、学習することに意欲的になります。家庭学習ノートは、自分で学習するための道具の1つですが、先生方に見てもらふことで、採点してもらったりアドバイスしてもらったりすることができ、家庭学習の方法を見直す機会になります。家庭学習ノートを使いながら、家庭学習に日々取り組む習慣を身に付けていきましょう。

<家庭学習ノートのきまり>

- ① 登校したら提出カゴに提出すること。
- ② 家庭学習の様子を書く。 ※日付を書き、ノートに勉強をする。最後に時間を書く。
- ② または 学習した内容を書くこと(できなかった日は、そのことを必ずその内容を書く)。
※必ず「日付」「教科・内容」「時間」を書く。

ノートの記入例

5月6日(月)
・数学ワークp33～p34の連立方程式を解いた。(1時間) (実際に家庭学習ノートに再度解いていくこともOK!)
6月7日(火)
・塾で理科の電流と社会の関東地方について学習した。(3時間)
7月8日(水)
・地理の関東地方の工業(p45～p47)についてまとめました。(1時間半) などなど

【こんなノートがありました！(過去の家庭学習ノートより)】

ドリル型～とにかく何回も書く！～

テスト型～一度解いた問題をテスト形式で繰り返し解く！～

まとめ型～授業のノートを写したり、自分で更にまとめたりしていました！～

【いろいろあるよ、勉強法！！】

青ペン学習法

覚えたい言葉や英単語を

ひたすら青ペンで書く！

コツ：ノートのように蓄積できるものにひたすら青ペンで書くのみ。同時にペンやノートを使い切った達成感を味わっちゃおう。

オレンジペンでまとめ

授業のノートを写したり、自分で学習内容をまとめたりする際に、

重要な(暗記したい)言葉を

オレンジペンで書く。

赤いシートで隠すと見えなくなるので、繰り返し勉強に使える！